

大阪教区慶讃法要団体参拝

来る、4月17日(木)～20日(日)に「大阪教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が難波別院(南御堂)で勤まります。慶讃法要は、宗祖親鸞聖人がこの世に生まれてくださったこと、そして「浄土の真宗」というみ教えを私たちに遺して下さったことを「慶び讃える」御仏事です。

天満別院門徒会では4月20日(日)に団体参拝を計画しております。ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。詳細は改めて、機関紙「六字城」にてお知らせいたします。

当日は、御門首出仕・参堂列(稚児行列)・子供報恩講などが勤まります。



ご案内

**1月1日(水)～3日(金)
お墓参りされる皆様へ**

◆墓地の開閉時間について

開門時間 6時30分
閉門時間 17時

◆お供えについて

○ お供えものはお供えされた当日にお持ち帰りいただきますようお願い致します。

◆駐車場について

○ 墓所周辺の道路は駐車禁止となっております。特にお正月期間は警察による取り締まりがござります。

別院講堂前駐車場が満車の場合は、南側の別院境内に駐車いただきますようお願い致します。

新規墓地・合祀墓納骨のご案内

現在、別院では真宗の御門徒の墓地使用者を募集しています。



また別院の由緒を敬慕し崇敬護持に協力する門徒、及び信徒の墳墓として合祀墓がござります。

多くの方々にご利用いただきました御案内申し上げます。



儀式執行は別院職員が行います。墓地のお求め、納骨等詳しくは寺務所までご連絡ください。

新生児 初参りしませんか

赤ちゃんを授かったら、仏さまに感謝とご挨拶をしましょう。

初参りとは、古来より勤められてきた、生まれた子どもの初めてのお仏事です。時期などは決まっております。

別院では新生児初参りを受け付けています。ぜひご家族お揃いでお参りください。

晨朝(おあさじ)に参りましょう

別院では、毎朝7時45分から本堂にてお勤めがあります。

お勤め本は別院で用意してありますので、ご活用ください。

また土曜日、日曜日には職員とご門徒による感話があります。

感話とは日頃感じたことを10分程度でお話させていただくことです。

どなた様でもお参りいただけますので、一日の始まりをぜひ晨朝から始めてみませんか。

皆様のご参詣をお待ちしております。

天満別院 院議会議員

小谷 淳也



「いつになられたか、
念仏を申されよ」

79歳の蓮如上人は、年頭のご挨拶に來られた門弟の道徳に対して開口一番こうおっしゃられたと伝えられています。「蓮如上人御一代記聞書」の最初にこの段があることは、この内容が何よりも蓮如上人の教えの基本を示しているとも言えます。

新年を迎えるということは、自分がつ一年をとるということです。限りある人生の節目とも言えます。人生の旅路のなかで足下を見失わないようにとの言葉、「あなたは何歳になられたのですか、

お念仏を申しましょう」の教言は静かに響いてきます。

本年は4月17日(木)から20日(日)に「大阪教区宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えいたします。また一年を通じて「慶讃Year」として様々な行事などがござります。ぜひ慶讃法要に参詣し、自身の生き方を見つめ直し、深いご縁に感謝しつつ「御同朋御同行」としてご一緒にお念仏申しましょう。



**本年もよろしく
お願い申し上げます**

輪番	奥林 暁
列座兼会計	山元 教悟
列座	出原 大乘
列座	堀河 実誓
嘱託	山名 彰英
事務員	植村 美恵子
墓地職員	黒田 直樹
墓地職員	貝沼 義弘
墓地職員	柴原 武史



◆別院婦人部

部長	傍島 恭子
副部长	林 綾子
会計	根本 和子
副会長	小糸 正洋
会計	加藤 良三
会計監査	上野 雄造
会計監査	下川 勝造

◆教化委員会

法要部会長	善澤 信成
研修部会長	洲崎 善範
広報部会長	松井 聡
青年部会長	間野 淳雄

◆墓地委員会

会長	八十島 義郎
	谷 康司
	幸田 晴夫
	根本 卓

(敬称略)



答え

大切な方がお浄土へ還られた日(地域によってはその前日)を1日目として数えて49日目を四十九日と言いますが、真宗では満中陰と言います。初七日・二七日・三七日・四七日・五七日(三十五日とも言います)・六七日・七七日(満中陰)と、七日ごとに中陰のお勤めをします。最近では還骨(月)という単なる語呂合わせであり迷信です。せつかく仏法と縁をいただく日をわざわざ減らすのは勿体ないことではないでしょうか。

日ごとに地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人・天といった六道のどこに生まれ変わるかという審判が行われ、四十九日に最後の審判が下されます。七日ごとのお勤めはその審判の後ろ楯として勤められるという考えもあつたそうです。しかし、真宗においては「釋」の字をいただき、お釋迦さまの弟子となりお浄土へと生まれるとされていますから、中陰の七日ごとのお勤めは審判の為ではなく、仏縁をいただく大切なものとして勤められます。

(第14組 妙隆寺 辻岡 慶順)

法要部会主催 公開講習会開催

去る12月12日(木)に天満別院教化委員会法要部会主催による打敷についての公開講習会が行われ13名の方々に参加していただきました。ご講師には大阪教区准堂衆会から松谷 泰明師にお越しいただきました。

まず、皆さん直綴・墨袈裟の装束に着替えられたのち、本堂にて打敷の歴史についての講習を受けられました。



松谷師による講義の様子

その後、内陣にて職員が実際に打敷をお荘りしている所を見学しながら講師からの解説を聞かれ、時折講師に質問を投げかけながら約2時間の講習会を終えました。打敷は寺院において御命日や特別な法要の時に御掛けすることが多いですが、実際正しい荘嚴を習う場は少なく今まで独自のお荘りをしていったという話も少なくありません。



内陣にて打敷の荘嚴の様子を見学

報告

能登半島地震募金報告

令和6年能登半島地震による甚大な被害が発生している状況を受け、被災地の支援の一助となるよう、被災地救援募金箱の設置を本堂と墓地事務所で行いました。皆さまから、総額91,434円(10月22日まで)の心温かい救援金が集まりましたことをご報告させていただきます。

皆様からお預かりした救援金は大阪教務所を通じて被災地へ全額寄付いたします。多くの皆さまの温かいご支援に厚く御礼申し上げます。



案内

修正会(初詣り)

1月1日(水)〜3日(金) 8時より

年頭挨拶 輪番 奥林曉

ご家族揃って初詣りには、別院へお越しください。またお供えされたお酒のおながれがございませう。ぜひみなさんお参りの際には、お召し上がりになってください。

1月 定例法話

定例法話では多彩な講師陣が分かりやすく真宗のみ教えをお話ししてまいります。1月は左記の通り開催致します。

日時 1月24日(金) 13時30分

場所 天満別院 本堂 御講師 第18組 圓林寺

講題 「とりかえし とりかえしきく」

東本願寺「宮御殿・桜下亭」特別公開

2025年の「京の冬の旅」にて、東本願寺の諸殿の中から「宮御殿」と「桜下亭」の特別公開を左記の通り行います。「京の冬の旅」は、京都市・京都市観光協会が主催し、今回で59回目を迎える歴史あるイベントです。

今回、東本願寺では、通常非公開の諸殿「宮御殿」と「桜下亭」の2カ所の公開を実施します。(どちらも重要文化財)また、「僧侶の案内による特別拝観」も期日限定で開催します。詳しくは京の冬の旅コールセンターへご連絡ください。

075158515181

記

期間 1月10日(金)から 3月18日(火)

場所 真宗本廟(東本願寺)

費用 大人800円 子供400円

天満別院 新年会について

恒例の別院新年会を左記の日程にて予定しております。是非皆様お誘い合わせの上ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時 1月11日(土) 午後6時より

場所 寿司処 海どう 大阪府大阪市中央区石町

天満橋駅4番出口より徒歩1分

会費 お一人5,000円

別院関係者の皆様には先月号に同封されていますご案内を確認いただき、FAX、またはお電話にて1月6日(月)までに出席のご連絡をお願いいたします。